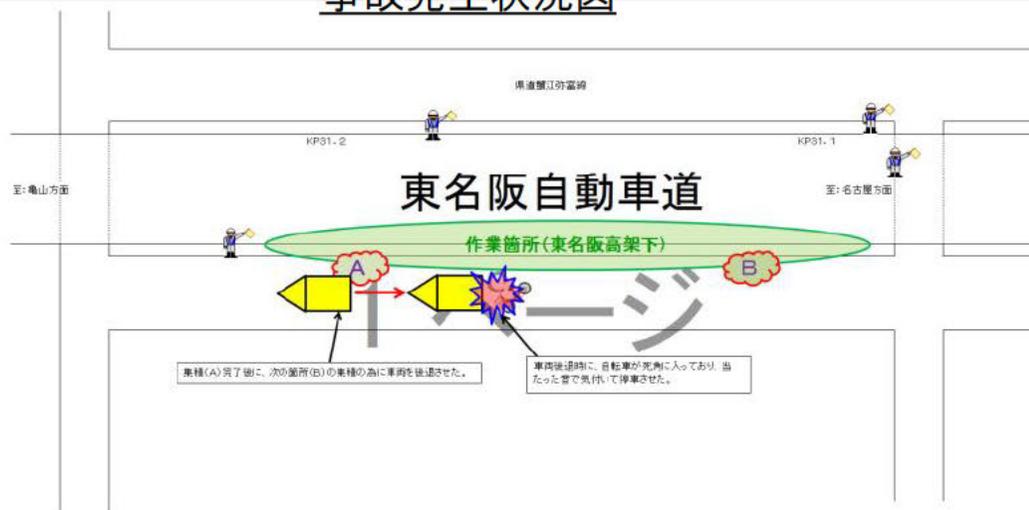


1. 発生日時 : 平成26年11月27日(木) 10:50頃
2. 場所 : 東名阪自動車道 31.2kp 七宝第二高架橋下の沿道
3. 作業内容 : 沿道草刈作業(地元対策)
4. 施工業者 : 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) ()
5. 事象内容 : パッカー車に伐採後の草を集積後、次の集積場所に移動するため、運転席の窓を開けパッカー車を後退させた際、運転手が音がしたため停止して確認したところ、自転車に乗った男性と接触していた(パッカー車後退時には、保安員が配置されていなかった。運転手の単独行動)
6. 被災状況 : 事故発生時は痛い箇所はない(本人)
自転車のかご及び、ハンドル
7. 時系列

11/27	10:50	事故発生(警察及び、救急車の要請を行う)
	10:59	事故発生連絡(メンテ現場代理人より、 HSC保全(計画)担当課長へ連絡)
	11:11	救急車到着
	11:12	メンテ現場代理人より、保全(計画)担当課長へ事故の概要報告
	11:19	救急車現場離脱→ 病院へ搬送
	11:20	警察現場到着→事故検分開始
	11:56	救急車 病院到着→診察開始(レントゲン撮影)
	12:00	警察事故検分終了→現場離脱
	12:27	診察終了。レントゲン撮影の結果異状はなし(家族到着後に医師から説明) (本人→痛い箇所が数か所ある) 警察事情聴取のため、被災者と面談。
	15:15	警察事情聴取終了。CT及びレントゲンの結果は異常なし。処方はされず、一日様子を見て、明日の午前中再診。その後に診断書を発行
	17:30	緊急安全会議開催
	19:00	緊急安全会議終了
	22:00	被災者謝罪連絡(被災者長男)
11/28	9:00	緊急訓練開催(みえ川越雪氷基地)
	9:00	HSC(所長、 副所長、 課長)事故概要説明→対策後に作業再開許可確認
	10:00頃	被災者再診
	12:20	被災者診察終了(脳神経外科→頭部外傷(約一週間の安静加療。整形外科受信→異常なし)

事故発生状況図



事故現場(東名阪 下り KP31.2付近)側道



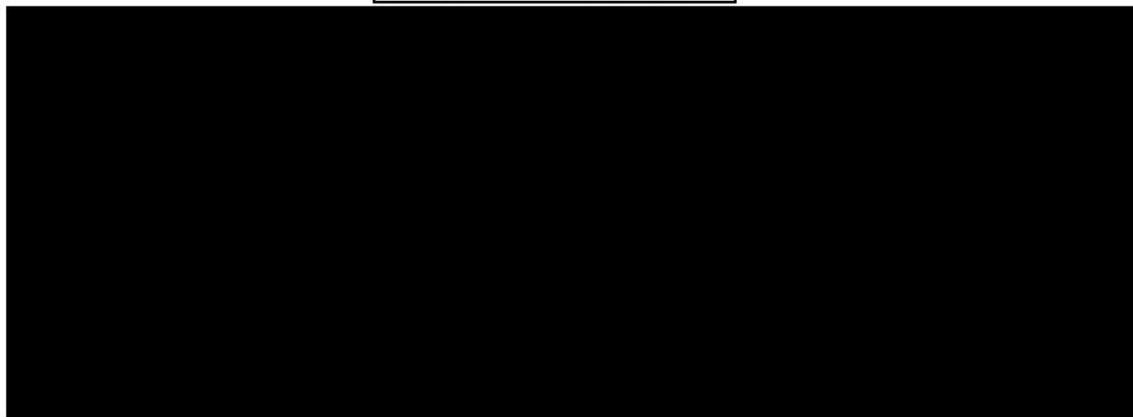
原因

- ①現場に保安員がいたが、バックするパッカー車の後方には配置されておらず、運転手の判断で単独で後退した。
(保安員は一般車(通行人)の誘導を行っていた。)
- ②パッカーの積み込みを単独(1人作業)を行っていた。

今後の再発防止

- ①11/27(木) 再発防止について、緊急安全大会を実施。
- ②車両にバックモニターを配備検討。
- ③単独作業は絶対に行わない。(必ず作業は2名以上で行う)
- ④『車両後退時、誘導員配置ヨシ!』のステッカーを運転手(席)から確認できる箇所にはりつけ、指差し呼称を行う。
- ⑤誘導方法、作業方法の再教育訓練を開催する→平成26年11月28日(金)みえ川越雪氷基地

緊急安全大会実施状況



『車両後退時、誘導員配置ヨシ!』ステッカー

